

令和6年度 静岡ビジネスインターンプログラム

～海外大学のインターン研修生受入企業を募集します～

静岡県では、海外の大学から外国人学生を受け入れて、インターンシップを実施していただく企業を募集しています。

アジアや米国での事業展開をお考えの企業の皆様は、ビジネスの国際化に向けて、この機会をぜひ御活用ください。

<受入れのメリット>

- ・ 外国人に業務を教えることによる社員の成長、組織内の国際化・活性化
- ・ 外国人の着眼点による新しい発想の活用
- ・ インターン生の母国での知名度向上（現地法人での人材確保に貢献）



1. 募集概要

○応募要件 県内に事業所があり、以下の条件での受入れ、研修が可能な企業

○研修生 日本語を学習しており、将来日本と関係のある仕事を希望する
以下の国・地域の学生

※原則として、1社につき1名の受入となります。

- ・ 台湾（屏東科技大学）
- ・ モンゴル（新モンゴル学園（新モンゴル工科大学又は新モンゴル高等専門学校））
- ・ 米国（ネブラスカ州立大学）
- ・ インド（インドSRM大学）

大学等	屏東科技大学	新モンゴル工科大学 新モンゴル高等専門学校	ネブラスカ州立大学	インドSRM大学
所在地	台湾 屏東県	モンゴル ウランバートル市	米国 ネブラスカ州	インド チェンナイ
大学の概要	農業の専門学校として設立された。農学部のほか、工学部や管理学部、獣医学部など7つの学部を設置している国立の総合大学。今年11月に設立100周年を迎える。	大学は東京工業大学などをモデルに、経営と技術の融合を目指しており、高専は、日本の高等システムを導入し技術者の育成を目的としている。	本県と長年にわたり経済交流を行ってきたネブラスカ州政府が推薦機関となり、州立大学（総合大学）の学生を推薦している。	理工系の有名私立大学。60社以上の企業と研究連携をしており、早稲田大学、静岡大学等と国際交流がある。日本企業への就職実績もある。

- 研修期間 令和6年7月～8月の2か月間程度（予定）
※研修期間は変更となる可能性があります。
- 研修内容 研修生が決定次第、各社にて研修計画を作成していただきます。
なお、研修活動が金銭的対価を発生させ、自社の利益として還元されることのないよう御注意ください（例：商品製造ラインでの作業は認められません）。御不明な点は、お問合せください。
- 費用負担
- ・純粋な研修目的のため、賃金等の支払いは不要です。
 - ・研修期間中の研修生の宿泊先（社員寮、マンスリーマンション等）を御用意ください。
 - ・その他費用負担は費用負担表のとおりです。

<費用負担表>

内 容		負担区分	
		受入企業	研修生
旅費・保険	渡航費（ビザ発給費用含む）		○
	海外旅行者傷害保険		○
	静岡市内集合地点まで(から)の交通費		○
研修経費	通勤費、出張旅費、資料費、制服等	○	
	オリエンテーション及び修了式参加のための県庁と企業間の交通費	○	
宿泊費	研修期間中の宿泊費用（水道光熱費を含む）	○	
食費	研修期間中の飲食費		○
その他	生活費、個人的費用		○

2. 受入れまでの流れ（予定）

- 令和6年 ～3月 受入企業の募集
 3月～4月 学生募集
 4月中旬～ 学生とのマッチング、受入企業の決定※1
 5月～ 受入の準備
 (ビザ発給手続き※2、研修スケジュールの作成、宿泊先の確保等)
 7月～8月 研修の実施

※1 研修生と受入企業のマッチングは静岡県が行います。なお、マッチングの結果によっては、応募いただいた場合でも御希望に沿えない場合もございますので、御承知置きください。

※2 モンゴル及びインドの学生を受入れる場合は、短期滞在査証（90日）の取得が必要なため、発給手続きが必要になります。

3. 応募方法

申込書に必要事項を御記入の上、下記のお問合せ・申込先までメール又はFAXでお送りください。

4. 応募期限

令和6年3月8日（金）

5. その他

- ・天災地変、火災、戦争、ストライキ、流行病、その他不可抗力の事由により当初予定どおり対面でのインターンシップを実施することができないと県が判断した場合にはこれを中止することがあります。この場合の費用負担も費用負担表のとおりとし、県はインターンシップの中止によって発生する不利益に関して一切の責任を負いません。
- ・インドSRM大学は、連携にむけて調整中であり、応募いただいた場合でも御希望に沿えない場合もございますので、御承知置きください。

6. お問い合わせ・申込先

静岡県経済産業部 企業立地推進課 担当：今本
電話：054-221-2439
E-mail：ksuishin@pref.shizuoka.lg.jp

